

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月2日(月) 10:00~12:00
- 3 開催場所 東濃特別支援学校校長室 (授業参観 グラウンド)
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|------------------------|
| 会長 | 古田 秀人 | 中部大学 現代教育学部 特任教授 |
| 副会長 | 原田 美津留 | NPO法人 暖 理事長 |
| 委員 | 水野 和昭 | 河合地区自治会 (副区長) |
| | 土本 浩樹 | 土岐綾部ライオンズクラブ第一副会長 (欠席) |
| | 渡邊 由香里 | 株式会社バロー 人事採用部 |
| | 梶田 義幸 | 本校PTA会長 |
| | | |
| 学校側 | 下野 誠司 | 校長 |
| | 原 美代 | 事務部長 |
| | 後藤 明美 | 教頭 |
| | 三尾 葉子 | 教頭 |
| | 古田 康子 | 小学部主事 |
| | 大宮 薫 | 中学部主事 |
| | 兼松 美穂 | 高等部主事 |
| | 梅村 和由 | 教務主任 |

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 今年度の取組

- ・ 事務部、小学部、中学部、高等部、進路支援部の取組の成果と課題

意見1 児童生徒のために教員がよく取り組んでいる。

意見2 宿泊研修時の保護者との連携や看護師の同行体制はどうなっているか。

⇒安心安全な実施に向け、保護者と丁寧な打ち合わせを重ね、合意の上で教員・看護師が引率している。

意見3 進路先 (就労継続支援B型) の選定理由に傾向はあるか。

⇒通い慣れた放課後等デイサービスの支援員がいることや、送迎の有無などが主な理由となっている。

意見4 卒業後に向け、情報モラル (SNS) の指導にしっかり取り組んでいる点が評価できる。

別紙様式 3

(2) 学校評価アンケートの集計結果について

- ・アンケート結果の概要を説明
- ・意見交流

意見1 働き方改革やいじめ等の項目は、外部からは判断しにくく「分からない」と回答しやすいのではないかと。

⇒次年度は、評価ポイントを絞るなど、質問項目を工夫する。

意見2 働き方改革において、ICT機器やアプリによる連絡手段の活用が有効である。

⇒企業での導入例（Teams やLINE 等の活用）を参考にし、効率的な情報共有を検討する。

意見3 肯定的評価は、日常で実感しやすい項目に表れやすい一方、働き方改革やいじめの把握は基準が難しい。設備面は課題を感じる人が多く、否定的な評価が出やすい。付度の可能性もあるため、評価が上がった項目でも気を緩めず取り組む必要がある。

(3) 令和8年度学校運営方針について

- ・次年度の運営方針（子どもファースト、チーム対応、働きがいのある職場）
事前年度の運営方針について説明し承認を得た。

6 感想・意見

意見1 実習や、就業先として本校と交流があるため、企業としても協力できることがあると感じた。
⇒高等部の製品販売について検討する。

意見2 高等部3年生の進路先が決定したことは喜ばしい。自施設にいる卒業生も含め、今後も支援を継続していきたい。

意見3 児童生徒が楽しめるアイデアについて、企業とコラボレーションし、交流の充実と体験活動につなげていけるとよい。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会は、今年度の取組状況や次年度の方向性について委員から承認を得た。
- ・学校評価アンケートの結果分析や本協議会での意見等を、次年度の学校運営に活かしていく。

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月29日(水) 9:00~11:00
- 3 開催場所 東濃特別支援学校校長室 (授業参観 グラウンド)
- 4 参加者

会 長	古田 秀人	中部大学 現代教育学部 特任教授	(欠席)
副会長	原田 美津留	NPO法人 暖 理事長	(欠席)
委 員	水野 和昭	河合地区自治会 (副区長)	
	土本 浩樹	土岐綾部ライオンズクラブ第一副会長	
	渡邊 由香里	株式会社バロー 人事採用部	
	梶田 義幸	本校PTA会長	
	学 校 側	下野 誠司	校長
	原 美代	事務部長	
	後藤 明美	教頭	
	三尾 葉子	教頭	
	古田 康子	小学部主事	
	大宮 薫	中学部主事	
	兼松 美穂	高等部主事	
	梅村 和由	教務主任	

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 当校の課題について

- ・「働き方改革」「教育の質の向上」「教育環境」の現状と課題

- 意見1 近隣の山は、きのこが生えなくなり、きのこ山としての価値がなくなっている。森林を活用できるとよい。
- 意見2 狭隘化解消として、新築は難しいため、小中学校の統合後の建物を活用するのが現実的だと考えられる。
- 意見3 隣の高等学校に通信制を設置することで、発達障がい生徒の進路先の一つになるのではないかと。特別支援学校にある就労に向けてのノウハウを伝えられるとよい。
- 意見4 隣の高等学校の敷地を活用するのが現実的である。寄宿舎の人数が減っているのを活用してはどうか。
- 意見5 未だに狭隘化が課題とは驚きを禁じ得ない。今後、高等学校は、施設にゆとりができるのは明らかである。本校と隣の高等学校でできなければ、岐阜県内でできる学校は無いと思われる。多治見、土岐、瑞浪に分教室を設置し、その分教室に本校から職員を派遣できると、市町村と本校がウィンウィンになるのではないかと。一部の県立学校が岐阜県のインクルーシブ教育をリードすることで、特別支援学校の狭隘化を解消していくしかないのではないかと。

(2) 高等部作業製品の販売価格審査

- ・新製品の現物を確認
- ・価格について説明する。

意見1 他の作業班どうしてでコラボした製品ができるとうい。

質問1 他の高等学校と協力して製品を開発していくのはどうか。

⇒ よいと思う。

*作業製品の販売価格について参加委員より承認が得られた。

(3) 行事見学 感想

意見1 とてもよい取組だと思う。作品が焼きあがると子どもたちも喜ぶ。

意見2 やきもの町として、よい行事である。子どもたちがレンガを積むところから関わっているのはとてもよい。ぜひ続けてほしい。(複数)

意見3 生徒会の活躍する場がありよい。

6 会議のまとめ

- ・高等部の新製品の価格について、審議を行い参加委員より承認を得られた。
- ・当校の課題の中でも、「教育環境」について、各委員よりそれぞれの立場から幅広い意見が出た。意見を参考にしながら、狭隘化について考えていきたい。
- ・行事を通して児童生徒の様子を参観いただくことで、学校教育活動に対する理解が深まった。今後も児童生徒が学校行事を通して社会性や人間性を育み、活躍できる機会を創出していく。

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月23日(月) 9:00~12:00
- 3 開催場所 東濃特別支援学校校長室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	古田 秀人	中部大学 現代教育学部 特任教授
副 会 長	原田 美津留	NPO法人 暖 理事長
委 員	水野 和昭	河合地区自治会 (副区長)
	土本 浩樹	土岐綾部ライオンズクラブ第一副会長
	渡邊 由香里	株式会社バロー 人事採用部
	梶田 義幸	本校PTA会長
学 校 側		
	下野 誠司	校長
	原 美代	事務部長
	後藤 明美	教頭
	三尾 葉子	教頭
	古田 康子	小学部主事
	大宮 薫	中学部主事
	兼松 美穂	高等部主事
	梅村 和由	教務主任
- 5 会議の概要 (協議事項)
 - (1) 学校運営計画、教育方針等について
 - ・学校教育目標、願う子どもの姿、学校経営方針、重点目標、教育課程について<下野校長>
 - *学校運営、教育方針、教育課程について全委員より承認が得られた。
 - (2) 学校概要
 - ・学校概要、学校全体、各部の学習活動について<三尾教頭、各部主事>
 - *学校概要学校について全委員より承認が得られた。
 - (3) 学校預り金・団体徴収金概要について<原事務部長>
 - *学校預り金・団体徴収金概要について全委員より承認が得られた。
 - (4) 高等部作業製品の販売価格審査<原事務部長・兼松高等部主事>
 - ・製品の現物を展示し、現物を確認する。

意見 1 : 油をすいとる新製品は使い捨てなのか。

⇒その通りである。

*作業製品の販売価格について全委員より承認が得られた。

(4) 学校見学 小学部、中学部、高等部の授業見学

(5) 意見交流

・前年度から学校の課題となっている、教育環境、教育の質の向上、働き方改革について

意見 1 : 高等部卒業後に向けて指標のようなものがあるか。バローの採用はあるか。

回答 1 : ここ最近の採用はないが、実習は受け入れている。

意見 2 : 作業学習の業種がそのまま就労というわけではないか。

回答 2 : 作業学習だけではなく、生徒一人一人の目標であったり、現場実習の様子であったりとさまざまなことを踏まえて就学先を考えている。

意見 3 : 児童生徒や教職員のよい姿がたくさん見られた。

意見 4 : 建設業を営んでいる。障がいのある方と接することもある。可茂特別支援学校の建設にかかわったときに、重複学級の指導を見た。丁寧な指導に感動した。今後も、障がいのある方にとって大切な場所であってほしい。

意見 7 : 小学部、中学部、高等部と授業参観をして、年齢が上がるにつれて落ち着いていて、教職員の指導の成長が見てとれた。

教職員の業務は大変である。働き方改革として、出退勤システムの導入だけでなく、教職員でなくてもできる業務については、外部委託をするなど、もっと減らしていく努力が必要である。

意見 8 : 自身の子どもが今年度高等部を卒業する。生活年齢としては小学校の低学年くらいで B 型事業所に就職となる予定。就労支援へ行くという進路先もあるが、実態を考えるとそれは難しいこれまで、施設見学でいろいろな就労先を見学したが、このまま就職させていいものか迷っている。学校に通っているときは問題にならないが、卒業後、B 型作業所に就労した時、送迎など保護者の負担が大きくなるか不安である。障がいのある方への支援を国の方でもっと手厚くしてほしいと考えている。

6 会議のまとめ

・第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

・高等部の作業製品価格について委員に意見を求め協議を行い、承認が得られた。

・学校として昨年度から課題となっていることについて、現状の報告と今年度の方向性、課題を提起した。得られた意見や課題を委員と共有し改善を図るため協議を行っていく。